

2022 年 8 月_中古車市場の動向

■オークション市場の動向

▪ 出品台数

- ◆8月のオークション出品台数は低調だった昨年8月をさらに下回り、13ヵ月連続のマイナスとなった。
- ◆昨年8月から13ヵ月連続で前年の出品台数を下回った。お盆休み明けの成約率は、ほとんどの会場で2~3%の上昇で成約単価も上昇となった。

▪ 落札台数

- ◆8月のAA落札は、前年同月の9割程度となり、8ヵ月連続のマイナス。
- ◆各会場のタマ不足により成約率は非常に高く、落札相場も高騰状態が続いている。1月から8ヵ月連続のマイナスとなった。入札件数は回復傾向となり、前月より前年を上回ってきた。

▪ AA ワンプラ落札台数

- ◆8月のAAワンプラ落札は、前年同月の6割程度となり、12ヵ月連続のマイナス。
- ◆昨年9月から12ヵ月連続でのマイナスとなった。AAの出品台数の低迷と高成約率でAAワンプラへの出品登録台数が少なく、出品車両は質も良くなく割高で低調な状況が続いている。

■共有在庫市場の動向

▪ AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

- ◆8月末現在の出品台数は、7月末に比べ2千台程度のマイナスとなった。今後もタマ不足は続く予想。
- ◆5月末より一気に減少傾向となり、8月末までには2.2万台程度の減少が進み深刻なタマ不足が継続。9月に入っても出品台数は伸びず、何とか現状を維持。小売市場と流通市場の動向に注視したい。

▪ AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

- ◆8月のASワンプラ落札は、出品台数減少のなか、前年同月を1割ほど上回り、5ヵ月連続でのプラスとなった。
- ◆AAでは出品台数の減少に加え成約率の上昇と相場の高騰の影響により落札することが非常に難しくなっている。これによりASワンプラに流れている傾向が顕著となっている。今後の流通市場と小売市場から目が離せない。